

【学校教育目標】

～明るい未来を拓く～

社会に自立する生徒の育成

【校訓】 力強く・心豊かに たゆみなく

学校HP <https://www16.sapporo-c.ed.jp/kamishinoro-j/>

発行者：校長 山崎 武司

上 篠 路

各学年 旅行的行事の振り返りから

校外学習を終えて

1年 生徒

私たちは5月29日に校外学習に行きました。

一番思い出に残っていることは、なんといっても炊事です。どの班も個性豊かなカレーを作っていました。隣の班のカレーは酸味が強く賛否が分かれていましたが、私は酸味が効いていてよかったと思いました。

頑張っている仲間もたくさんいました。私の班では班長MさんとMさんが長い時間一生懸命うちわで炭をあおぎ、火を起こしてくれました。骨の折れる作業を黙々と続けてくれる姿が逞しく見えました。本当にありがとう。SさんとRさんは包丁を巧みに使い、ニンジンの花の形に切ってくれました。Mさんはカラスが食材を奪いに来ないように警備を頑張っていました。みんなで協力し作り上げたカレーは本当においしかったです。

1学年の目標は「Restart」です。ここには、気持ちを切り替えたり、もう一度チャレンジするなどの明るい意味が込められています。入学から2か月が経ちますが、みんなよいRestartができていて嬉しいです。

この目標を胸に、これからも粘り強く、力強く過ごしていきたいです。



宿泊学習で感じたこと

2年 生徒

私は宿泊学習を通して、事前に行く場所についてしっかり調べたり、時間を守って行動したりすることができました。1日目の小樽自主研修は、私たちの班が行く昼食場所が、わかりづらい場所にありましたが、事前にだいたいの場所や外観、周りにあるものなどを調べていたので、当日もたどり着くことができました。また、ホテル内では、夕食や学級ミーティングの時間に遅れないように、その都度、時計を確認して行動し、時間を守ることができました。

宿泊学習を終えてみて、私のこれからの学校生活の課題は「自主的に行動すること」です。研修の順番を決める時や、地図を見て場所を探す時に、班員に頼ってしまう場面がありました。これは、1年生のころからあまりできなかったことなので、これからの学校行事では頑張っていきたいです。また、その他にも、研修場所で感じた「礼儀」も大切にしながら、学校生活を送っていききたいです。



修学旅行を振り返って

3年 生徒

今回の修学旅行を振り返って、たくさん思い出をつくることができました。

まず1日目は、北海道から東北へ移動し、田老地区で震災学習がありました。バスやJR、新幹線では、落ち着いて過ごすことができました。班ミーティングの時も班長の話をしっかり聞くことができていたのよかったです。震災学習では、ガイドさんの話を聞き、当時のことを身をもって体験し、知ることができました。

2日目は、秋田できりたんぼ作りや康楽館で鑑賞をしました。きりたんぼ作りでは、お世話になる人達に明るく挨拶をし、班員で協力してきりたんぼを作りました。自分達で作ったきりたんぼは、とてもおいしかったです。また食べたいなと思いました。

3日目はねぶたを鑑賞しました。生で見ると迫力がすごく、感動しました。体験もおもしろかったです。修学旅行を通して、色々なことを学び、知ることができました。この体験を生かして、今後の学校生活につなげていきたいです。



すべての旅行的行事を、無事予定通りに実施することができました。保護者の皆様には、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。旅行的行事の様子は本校ホームページ (<https://www.kamishinoro-j.sapporo-c.ed.jp/>) にも掲載しておりますので、よろしければそちらもご覧ください。

7月11日(金)から17日(木)まで、期末懇談会が実施されます。大変お忙しいとは存じますが、生活面・学習面等、お子様の学校生活についてご相談したいと存じます。ご出席の程よろしくお願いいたします。

編集後記

6月になり、ふわふわと雪のように舞う白い物体をたくさん目にするようになりました。その正体はポプラの綿毛だそうです。この綿毛は、「花粉」ではなく「種子」なので花粉症の人でもアレルギー反応を心配しなくてよい、との記事を見たことがあります。マスクを外すとくしゃみが出てしまいます。調べてみると、綿毛そのものではなく、綿毛が運ぶ花粉やほこりでアレルギー症状が出る人もいるのだとか。また、この綿毛は燃えやすい性質を持つため、火災の原因になることもあるそうです。北京では「綿毛予報」が出るほど警戒されているようです。ただ、私の郷里では見る事ができない、この時期だけの幻想的な景色。せっかくなので、マスクを付けて、車の窓を締め切り、火気厳禁で楽しみたいと思います。☺